

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

子どもの豊かな表現を促す活動のひとつに、歌唱が挙げられる。ピアノの伴奏は、子どもが歌うことの楽しさをより感じたり、歌うことへの意欲を高めるために、重要な役割を担う。本授業では、現場で必要とされる子どもの歌を課題曲とし、弾き歌いができることを目標とする。授業形態は、全体授業とグループ別個人レッスンを並行して行う。全体授業では、春～夏にかけての季節の歌、生活の歌、行事に関する歌等、主に八長調の曲を課題として扱う。各教員の、演奏者、子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導としての経験を生かし、授業内では、歌唱及び伴奏法に関わる事柄についても指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 八長調コード付けの考え方	
第 2 回	(全体授業) コード演習「おはようのうた」	(個人レッスン)
第 3 回	(全体授業) 「きらきらぼし」「チューリップ」	(個人レッスン)
第 4 回	(全体授業) 「大きな栗の木の下で」	(個人レッスン)
第 5 回	(全体授業) 「おかえりのうた」	(個人レッスン)
第 6 回	(全体授業) 「めだかのがっこう」	(個人レッスン)
第 7 回	(全体授業) 「こいのぼり」	(個人レッスン)
第 8 回	中間実技試験・講評及び解説	
第 9 回	(全体授業) 「はをみがきましょう」	(個人レッスン)
第 10 回	(全体授業) 「とけいのうた」	(個人レッスン)
第 11 回	(全体授業) 「かたつむり」	(個人レッスン)
第 12 回	(全体授業) 「あめふりくまのこ」	(個人レッスン)
第 13 回	(全体授業) 「たなばたさま」	(個人レッスン)
第 14 回	(全体授業) 「うみ」	(個人レッスン)
第 15 回	(全体授業) 「夕焼け小焼け」	(個人レッスン)
第 16 回	実技試験	

到達目標

- 曲を理解し、子どもの姿をイメージして弾き歌いができる。
- 八長調の課題曲について、暗譜で弾き歌いができる。
- 八長調の課題曲について、簡単なコード伴奏をつけることができる。

履修上の注意

- 演奏の妨げにならないよう、爪を短く切ること。
- 授業簿に練習状況を記入し、レッスン時に提出すること。

予習・復習

- 必ず、自主練習を行い、レッスンに臨むこと。

評価方法

- 実技試験 50%、提出物及び課題の取り組み 30%、練習状況及び受講態度 20%を総合して評価する。

テキスト

- 教科書名：『改定ポケットいっぱいのおうた』
- 著者名：鈴木恵津子, 冨田英也
- 出版社名：教育芸術社
- ISBN コード：978-4-87788-485-7
- ※その他、適宜資料を配布する。